

平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 エスピー食品株式会社
 コード番号 2805 URL <http://www.sbfoods.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理サポートグループ経理管理室
 経理ユニットユニットマネージャー
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 小形 博行
 (氏名) 山崎 崇弘
 TEL 03-3668-0551

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	110,275	3.2	6,443	12.1	6,372	12.1	4,152	24.5
29年3月期第3四半期	106,849	4.1	5,746	48.8	5,683	33.6	3,334	14.5

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 5,136百万円 (21.7%) 29年3月期第3四半期 4,219百万円 (10.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	653.79	
29年3月期第3四半期	510.45	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	110,448	41,324	37.4
29年3月期	104,763	36,667	35.0

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 41,324百万円 29年3月期 36,667百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		35.00		35.00	70.00
30年3月期		40.00			
30年3月期(予想)				40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	142,000	3.0	6,300	17.4	6,100	19.1	3,800	38.4	598.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	6,977,117 株	29年3月期	6,977,117 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	626,528 株	29年3月期	626,104 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	6,350,852 株	29年3月期3Q	6,533,049 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的と判断される前提に基づくものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる場合があります。上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
3. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移したものの、海外経済の不確実性の高まりなどにより、先行きは不透明な状況が続きました。

食品業界におきましては、お客様の節約志向が依然として根強いなかで、消費行動の多様化などへの対応が求められるなど、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなかで、当社及び連結子会社は、企業理念・ビジョンのもと、中期経営計画に基づき、スパイスとハーブを核とした事業活動を推進してまいりました。

おいしさの追求はもちろんのこと、高い品質と新たな価値を創出し、暮らしに役立つ製品を生み出すため、お客様視点での研究開発や製品開発を行うとともに、きめ細かな営業活動やスパイスとハーブの魅力をお伝えするための情報発信に取り組みました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、食料品事業においてスパイス&ハーブグループをはじめ、各製品区分の主力製品が堅調に推移するとともに、調理済食品も前年同期実績を上回りましたことから、前年同期比34億25百万円増の1,102億75百万円（前年同期比3.2%増）となりました。利益面では、食料品事業の売上高が増加したこと、また食料品事業、調理済食品ともに引き続き原価低減に努めたことなどから、営業利益は前年同期比6億97百万円増の64億43百万円（同12.1%増）、経常利益は前年同期比6億89百万円増の63億72百万円（同12.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比8億17百万円増の41億52百万円（同24.5%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下の通りであります。

なお、各セグメントの売上高は、セグメント間内部売上高消去後の数値を記載しております。

セグメント及び製品区分別の連結売上高の詳細につきましては、8ページ「3. 補足情報」をご参照ください。

(1) 食料品事業

売上高は、前年同期比33億54百万円増の962億74百万円（同3.6%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は前年同期比5億32百万円増の67億68百万円（同8.5%増）となりました。

(2) 調理済食品

売上高は、前年同期比71百万円増の140億円（同0.5%増）となりました。セグメント損失（営業損失）は3億57百万円（前年同期はセグメント損失5億22百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して56億84百万円増加し、1,104億48百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加64億87百万円などがあったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して10億28百万円増加し、691億23百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末と比較して46億56百万円増加し、413億24百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加36億92百万円などがあったことによるものであります。この結果、自己資本比率は37.4%となりました。

なお、当社の関連会社（持分法適用関連会社）である㈱ゴールデンフーズが平成29年8月31日をもって、当社業務用製品の販売業務を終了したことに伴い、商流の変更及び債権の流動固定分類の見直しを実施しましたことから、受取手形及び売掛金が38億37百万円減少し、固定化営業債権が38億37百万円増加しております。また、貸倒引当金（流動資産）が35億6百万円減少し、貸倒引当金（固定資産）が35億6百万円増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、概ね計画通りに推移いたしましたことから、平成29年10月31日に発表いたしました通期の連結業績予想につきまして、変更を行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,289	20,117
受取手形及び売掛金	23,105	29,593
商品及び製品	5,960	5,966
仕掛品	2,258	2,196
原材料及び貯蔵品	6,097	5,415
その他	6,177	2,273
貸倒引当金	△3,506	△163
流動資産合計	58,383	65,400
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,099	11,993
機械装置及び運搬具(純額)	6,896	6,651
土地	8,429	8,218
その他(純額)	2,660	2,632
有形固定資産合計	30,086	29,496
無形固定資産	608	633
投資その他の資産		
投資有価証券	7,320	8,611
固定化営業債権	—	3,837
その他	8,686	6,626
貸倒引当金	△322	△4,157
投資その他の資産合計	15,684	14,917
固定資産合計	46,379	45,048
資産合計	104,763	110,448

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,374	10,892
短期借入金	21,850	25,624
未払法人税等	1,705	1,452
賞与引当金	1,174	610
その他	11,871	12,190
流動負債合計	46,976	50,771
固定負債		
長期借入金	12,169	9,671
退職給付に係る負債	6,638	6,519
資産除去債務	183	185
その他	2,126	1,976
固定負債合計	21,119	18,352
負債合計	68,095	69,123
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,744	1,744
資本剰余金	5,337	5,337
利益剰余金	29,433	33,125
自己株式	△2,923	△2,927
株主資本合計	33,591	37,280
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,406	3,332
土地再評価差額金	890	873
為替換算調整勘定	20	25
退職給付に係る調整累計額	△240	△187
その他の包括利益累計額合計	3,076	4,044
純資産合計	36,667	41,324
負債純資産合計	104,763	110,448

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	106,849	110,275
売上原価	63,197	63,521
売上総利益	43,652	46,753
販売費及び一般管理費		
販売促進費	23,069	24,194
その他	14,835	16,115
販売費及び一般管理費合計	37,905	40,309
営業利益	5,746	6,443
営業外収益		
受取利息	46	37
受取配当金	152	159
不動産賃貸料	27	29
為替差益	21	2
その他	149	154
営業外収益合計	396	382
営業外費用		
支払利息	428	406
その他	31	46
営業外費用合計	460	452
経常利益	5,683	6,372
特別利益		
固定資産売却益	13	124
受取補償金	9	—
その他	0	23
特別利益合計	23	148
特別損失		
固定資産売却損	69	100
固定資産除却損	122	28
貸倒損失	318	—
関係会社整理損	155	—
その他	14	12
特別損失合計	680	141
税金等調整前四半期純利益	5,026	6,379
法人税、住民税及び事業税	1,686	2,215
法人税等調整額	5	12
法人税等合計	1,691	2,227
四半期純利益	3,334	4,152
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,334	4,152

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	3,334	4,152
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	804	926
為替換算調整勘定	25	4
退職給付に係る調整額	54	53
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	884	984
四半期包括利益	4,219	5,136
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,219	5,136
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食料品事業	調理済食品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	92,920	13,928	106,849	—	106,849
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	92,920	13,928	106,849	—	106,849
セグメント利益又は 損失(△)	6,236	△522	5,713	33	5,746

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額33百万円は、セグメント間取引消去33百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食料品事業	調理済食品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	96,274	14,000	110,275	—	110,275
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	96,274	14,000	110,275	—	110,275
セグメント利益又は 損失(△)	6,768	△357	6,410	32	6,443

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額32百万円は、セグメント間取引消去32百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

セグメント及び製品区分別連結売上高

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント及び製品区分別の連結売上高は以下の通りであります。

(単位：百万円)

セグメント及び製品区分	前第3四半期 (累計)	当第3四半期 (累計)	増減額	増減の主な要因
食料品事業	92,920	96,274	3,354	
スパイス&ハーブ	19,057	20,215	1,158	業務用香辛料、洋風スパイス (増加)
即席	26,354	26,545	190	即席シチュー (増加)
香辛調味料	25,499	26,461	961	中華製品、チューブ製品 (増加)
インスタント食品その他	22,008	23,051	1,043	レトルトカレー (増加)
調理済食品	13,928	14,000	71	調理麺 (増加)
計	106,849	110,275	3,425	